

名古屋市老人クラブ連合会の年表

元号 (西暦)	社会・市政の主な動き	老人福祉関係・全老連・市老連の主な動き	組織の推移		
			年度	クラブ数	会員数
昭和38 (1963)	2.15 守山市合併「守山区」が誕生(13区制) 4. 1 鳴海町合併「緑区」が誕生(14区制) 7.16 名神高速道路尼崎～栗東間開通	8. 1 老人福祉法の施行 厚生省、老人クラブに対する助成開始 11.26 名古屋市社会福祉協議会法人格取得	38	122	8,234
39 (1964)	10. 1 東海道新幹線東京～大阪間開通 10.10 東京オリンピック開催		39	285	18,113
40 (1965)	4. 1 市農業センター開場 9. 8 栄地下街の南北地下街開業 10.15 地下鉄2号線栄町～市役所間開通	2. 1 名古屋市老人クラブ連絡協議会を市役所民生局内に設置 ★市老連初代会長：鶴見善一(熱田区) 2. 8 愛知県老人クラブ総連合が設置され名古屋市加入	40	348	22,455
41 (1966)	9.30 市役所西庁舎完工、吹上ホール完工	9.15 「老人の日」を「敬老の日」として国民の祝日に制定	41	546	35,421
42 (1967)	3.30 地下鉄1号線東山公園～星ヶ丘間、2号線栄～金山間開通		42	646	42,453
43 (1968)	6. 1 区政協力委員制度創設		43	731	46,737
44 (1969)	2. 4 市人口200万人突破		44	802	50,977
45 (1970)	3.14 日本万国博覧会(大阪万博)開幕		45	861	53,798
46 (1971)		10. 1 [市] 老人医療無料化実施(75歳以上)	46	938	58,963
47 (1972)	2. 3 冬季オリンピック札幌大会開催 5.15 沖縄日本復帰	10.13 全老連創立10周年記念全国老人クラブ大会開催	47	1,066	66,293
48 (1973)	5.18 市民御岳休暇村開村 10.～ 第4次中東戦争勃発で第1次オイルショック起こる	1. 1 [国] 70歳以上の「老人医療無料化制度」開始 9.15 [市] 70歳以上の市営交通料金無料化	48	1,249	77,696
49 (1974)	3.31 市営路面電車全廃	9.15 [市] 65歳以上の敬老手帳を初交付	49	1,391	85,428
50 (1975)	2. 1 千種区から名東区、昭和区から天白区を分区(16区制)	★市老連2代会長：近藤富之照(中村区)	50	1,534	94,004
51 (1976)	4. 1 市営バスワンマン化完了 11.20 名古屋駅前地下街「テルミナ」開業		51	1,628	99,625
52 (1977)	10. 1 市博物館開館		52	1,739	105,996
53 (1978)	8.20 名鉄瀬戸線が栄乗り入れ		53	1,808	109,635

元号 (西暦)	社会・市政の主な動き	老人福祉関係・全老連・市老連の主な動き	組織の推移		
			年度	クラブ数	会員数
昭和 54 (1979)	7.29 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田新線相互直通運転開始 10.28 木曾御岳山有史以来初噴火	4. 1 市老連事務局規定施行、市役所民生局内に市老連事務局設置	54	1,887	114,628
55 (1980)	4.26 東谷山フルーツパーク開設		55	1,931	116,635
56 (1981)			56	1,976	118,831
57 (1982)	7. 1 愛岐処分場（多治見市）開設	3.29 全老連が老人クラブシンボルマーク・会員章制定 ★市老連3代会長：安井溪洲（守山区）	57	2,035	121,863
58 (1983)	3.30 中央卸売市場北部市場開設	2. 1 [国] 老人保健法施行、老人医療費の一部が有料化	58	2,071	124,306
59 (1984)	9. 6 地下鉄3号線浄心～庄内緑地公園間開通 9.29 天守閣再建25周年記念、名古屋城博開催		59	2,091	126,129
60 (1985)	4.30 基幹バス新出来町線（栄～引山）運行開始		60	2,095	126,081
61 (1986)	4. 1 名古屋市鯉城学園開校	2.20 社団法人名古屋市シルバー人材センター設立 4. 1 全老連「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を開始	61	2,115	127,327
62 (1987)	7.19 市総合体育館・サン笠寺開館	5. 1 名古屋市老人クラブ連絡協議会から名古屋市老人クラブ連合会と名称変更	62	2,124	127,448
63 (1988)	4.22 市美術館開館	5. 1 市老連部会設置 10.30 第1回全国健康福祉祭（ねんりんピック）兵庫県で開催	63	2,143	128,477
64 平成元 (1989)	1. 7 昭和天皇崩御 1. 8 「平成」と改元 7.15 世界デザイン博覧会開催	5. 1 市老連副会長2人制から3人制へ改正	元	2,148	128,572
2 (1990)	7. 2 住民基本台帳電算化実施	4. 9 女性リーダー代表者会設置 9. 8 市老連情報誌「NAMO」発刊	2	2,157	129,138
3 (1991)	6. 3 雲仙普賢岳で火砕流 8.26 中区役所朝日生命共同ビル業務開始	4. 1 東・北・西・中村・瑞穂・中川・港・南区老連に老人クラブ活動推進員配置 6.12 区老連指導者研修会「寿大学」の内容を引き継ぎ市老連老人クラブ活動研修会開催	3	2,167	129,504
4 (1992)	●「きんさん・ぎんさん」日本中の人気者に 10.29 名古屋港水族館オープン	4. 1 市老連が愛知県老連から分離独立 4. 1 全区老連に老人クラブ活動推進員配置完了 4. 1 市老連に専任事務局長配置 5.13 第1回市老連総会・独立記念大会開催 5.13 市老連機関紙「なごや」発刊 12. 2 シニア・スポーツリーダー研修会開催	4	2,115	126,432

元号 (西暦)	社会・市政の主な動き	老人福祉関係・全老連・市老連の主な動き	組織の推移		
			年度	クラブ数	会員数
平成5 (1993)	8.12 地下鉄鶴舞線名鉄犬山線と相互直通運転開始	2.23 第1回名古屋市老人クラブ大会開催 4. 1 市老連事務局移転(北区) 7.29 全老連女性委員会発足	5	2,186	130,538
6 (1994)	9. 3 「わかしゃち国体」夏季大会開催 11.12 全国身体障害者スポーツ大会「ゆめびっくあいち」開催	12.14 日本セカンドライフ協会「JASSくらぶ」との交流事業開始	6	2,185	130,442
7 (1995)	1.17 阪神・淡路大震災発生 3.20 地下鉄サリン事件発生	4. 1 市老連事務局移転(中村区) 4. 1 名古屋市老人クラブ連合会が社団法人格取得 5.26 第1回 名古屋市老人クラブ連合会通常総会開催 ★市老連4代会長：坪井義光(中村区)	7	2,198	130,826
8 (1996)	8. 8 市内各所で「まるはちの日」記念イベント開催 11.15 ナディアパーク完成		8	2,193	130,284
9 (1997)	4. 3 名古屋能楽堂開館 10.18 「ゆうあいピック愛知・名古屋大会」開催	5.29 ★市老連5代会長：井上大三(守山区)	9	2,194	130,788
10 (1998)	2. 7 冬季オリンピック長野大会開催 10.31 「ねんりんピック'98愛知・名古屋」開催	5. 6 市老連事務局移転(北区清水四丁目・名古屋市総合社会福祉会館5階)	10	2,189	130,344
11 (1999)	2.18 ごみ非常事態宣言	2.18 第1回健康づくりセミナー開催 5.26 ★市老連6代会長：伊藤治郎(昭和区)	11	2,166	128,217
12 (2000)	3.31 北海道有珠山噴火 6. 3 「環境デーなごや」開催 8. 7 家庭ごみ指定袋制の本格実施 9.11 東海豪雨で全市に甚大な被害	4. 1 介護保険制度発足 ●全国65歳以上人口が2,000万人突破 11.11 児童とのニュースポーツ交流大会開催	12	2,135	126,315
13 (2001)	3.23 ガイドウェイバスシステム「ゆとりーとライン」運行開始	●国民祝日法で「敬老の日」は9月の第3月曜日と改正 ●老人福祉法で「老人の日(9月15日)」「老人週間(9月15日～21日)」創設 10.10 第1回グラウンド・ゴルフ指導者養成大会開催	13	2,120	125,124
14 (2002)	10.11 オアシス21オープン	9. 1 市老連情報誌「NAMO」17号の最終号発行 10. 1 【国】老人医療制度改定	14	2,088	123,131
15 (2003)	4. 2 SARSが流行、WHO広東・香港への渡航延期勧告	5.22 ★市老連7代会長：加藤巷二(瑞穂区) 11.26 老人福祉法40周年・老人保健法20周年記念全国老人クラブ大会開催	15	2,055	120,697
16 (2004)	10. 6 地下鉄名城線環状運転開始「あおなみ線」開業 10.23 新潟中越地震		16	2,010	117,575

元号 (西暦)	社会・市政の主な動き	老人福祉関係・全老連・市老連の主な動き	組織の推移		
			年度	クラブ数	会員数
平成 17 (2005)	3.25 万国博覧会「愛・地球博」瀬戸・長久手で開催 4.25 J R 福地山脱線事故	1. 1 市老連機関紙「なごや」第37号の最終号発行 2.10 市老連設立40周年・法人化10周年記念老人クラブ大会開催 5.28 ★市老連8代会長：太田豊治（名東区） 6. 1 名古屋市老人クラブ通信「なごやかひろば」創刊 10. 1 市老連第1期「仲間づくり推進運動要領」策定	17	1,974	114,864
18 (2006)	3.21 ワールドベースボール・クラシックで日本優勝	4. 1 市老連ホームページ開設	18	1,930	111,802
19 (2007)	10. 1 郵政民営化スタート	6. 8 第1回健康づくりウォーキング大会開催	19	1,866	107,849
20 (2008)	7. 7 第34回主要国首脳会議（サミット）北海道洞爺湖で開催	4. 1 後期高齢者医療制度発足	20	1,807	103,959
21 (2009)		5.28 ★市老連9代会長：寺尾 登（守山区）	21	1,760	100,493
22 (2010)	1. 1 名古屋開府400年祭開幕	10. 1 市老連第2期「仲間づくり推進運動要領」策定	22	1,737	95,258
23 (2011)	3.11 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 7.24 地上デジタル放送完全移行	3.11 全老連、東日本大震災救援拠金実施を通知 9.11 第1回スイミングフェスタ開催	23	1,725	91,289
24 (2012)	5.22 東京スカイツリー開業	5.24 ★市老連10代会長：長尾 昇（中村区） 10. 1 市老連第3期「仲間づくり推進運動要領」策定 12. 6 市老連臨時総会開催（定款改正案）	24	1,689	86,595
25 (2013)	9. 8 IOC総会で2020年夏季オリンピック開催地が東京に決定	4. 1 市老連が社団法人から公益社団法人へ移行 10. 1 市老連ホームページを一新	25	1,648	82,102
26 (2014)	9.27 御嶽山噴火	4. 1 全老連「100万人会員増強運動」開始 9.18 老人クラブ「名古屋市2万人会員増強運動」策定	26	1,620	78,335
27 (2015)		1.15 市老連の愛称を「なごやかクラブ名古屋」に決定 2. 1 市老連設立50周年記念日	27	—	—